

グリーンズ川越 第3号



編集人
川口けいすけ

第3号の特集も **選挙**

創刊号のテーマをあえてもう一度採り上げる！

衆議院選挙投票率

県ワースト3

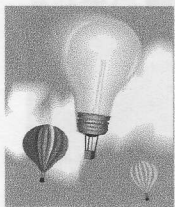
	全国平均	東京都	埼玉県	川越市
前回/2000年	62,49%	60,46%	58,49%	58,37%
今回/2003年	59,86%	58,35%	53,98%	53,73%

県ワースト2

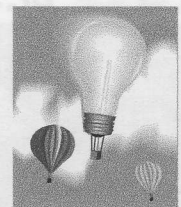
県ワースト1

上の表の様に、今回の投票率は過去2番目に低く、その状況下で全国最低の投票率だったのがここ埼玉県だ。意識の低さが数字に表れている。寂しい現実である。

今回の選挙は、国民が政権を選ぶ事が出来る、実質的に初めての機会だったのだが・・・。



来年こそは
投票に行こう



* 来年の7月に参議院選挙があります！

投票率の低下は日本だけの問題ではなく、先進国はどこも抱えている問題だ、という話を良く聞くが、国政選挙レベルでは、日本とアメリカを除いては高い投票率を維持しており、国民の政治に対する関心の高さを表している。

国名	投票率	国名	投票率
イギリス	国政選挙 70~80%	フランス	大統領選挙 80.9%
ドイツ	国政選挙 79.1%	アメリカ	大統領選挙 54%
スウェーデン	国政選挙 85~90%	日本	国政選挙 59.86%
デンマーク	国政選挙 90%前後	韓国	大統領選挙 80.7%
オーストラリア	国政選挙 95%以上	台湾	総統選挙 82.7%

* オーストラリアは正当な理由なく投票を棄権した場合、20ドルの罰金を取られる制度を採用。



今回の低投票率を受けて、日本でもこうした制度が必要ではとの意見があるが、罰則がなくては投票にすら行かれないのでは、こんな情けない話はないと思う。

軍事政権下の国など、国民の手に選挙権を取り戻そうと、命がけで戦っている所も少なくない。彼らは、自分達に選ぶ権利がありながら、それを行使しようとしらない今の日本人の姿を、どう見るのだろうか。